

代々木八幡公衆トイレ



外観(空撮)

代々木八幡宮の森と調和して、森から生まれた3本のキノコを連想させるトイレは、個室型のトイレを3つの棟に分散させることで、回遊性を生み出し、行き止まりがなく視線が抜けることで防犯性を高めている。



外観

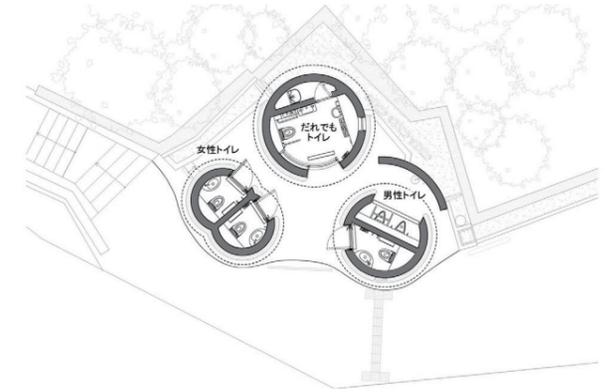
トイレの外壁には、セルフクリーニング機能を施した7色の特注モザイクが採用されており、地面から上に行くほど明るい色にグラデーションしている。



外観(夜景)

夜間は、トイレの内部のやさしい光がこぼれ、周辺のランドマークにもなる。各棟の扉を中心付近に設けることで、3つの棟の中央部分をより明るくして中心性を作り出している。

図面



外観(夜景)



扉上部の照明とともに、ドーム状の天井面に反射した内部照明の光がハイサイドライトからこぼれ、周辺をやさしく照らし、夜間においても利用者に安心感をもたらしている。



男性トイレ



外からの視線に配慮しつつ、通り抜けできる半屋外の小便器コーナー。小便器はマイクロ波センサー壁掛小便器セット、足元には防汚・防臭効果のあるハイドロセラフロアPUを採用。通路の中央に造作の手洗器を設置。



男性トイレ



男女トイレ共に、排せつから手洗いまで一連の動作が個室で行える個室完結型。手洗器の水栓は蛇口に触れず衛生的に手洗いができる自動水栓を採用。高齢者や乳幼児連れに配慮して、手すりとベビーチェアを設置。



女性トイレ



男女トイレ共に、大便器は床の清掃性に優れた壁掛けタイプ、便座は利用者の快適性に配慮してウォシュレットアプリコットPを採用。リモコンはボタンを押すたびに発電するエコリモコンを設置している。



だれでもトイレ



円形の空間を生かしつつ、さまざまな利用者に対応した器具を完備。オストメイトに必要な器具がパッケージされたコンパクトオストメイトパックを設置している。



案内図・ピクトグラム



案内図でトイレの配置を確認できるようにしている。また、各空間の入口には、THE TOKYO TOILET(ザトウキョウトイレット)プロジェクト共通のピクトグラムを設置。

水まわりの特長

建物の特徴

日本財団が実施する、THE TOKYO TOILET(ザトウキョウトイレット)は、誰もが快適に使用できる公共トイレを設置するプロジェクト。そのひとつである代々木八幡公衆トイレは、山手通りを面して、代々木八幡宮の参道にあたる階段の上り口に立地。トイレのタイトルは「Three Mushrooms」。背後にある森と調和して、代々木八幡宮の森から生まれた3本のキノコを連想させる。トイレは、個室型のトイレを3つの棟に分散させることで、回遊性を生み出し、行き止まりがなく視線が抜けることで防犯性を高めた、落ち着いて、安心して利用できるさりげないデザイン。夜間でも女性が利用できるような安心感を抱けるトイレになってほしいという思いがデザインにこめられている。

水まわりの特長

トイレは、男性・女性・だれでもトイレの3つの棟で構成されている。各個室はゆとりのある広さで、さまざまな利用者が使いやすいように設備機能が分散されており、男性、女性トイレの個室にそれぞれ手すりとベビーチェアを設置することで、高齢者や乳幼児連れの使いやすさに配慮し、だれでもトイレの利用者の分散を図っている。大便器は壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を採用。利用者の快適性に配慮して、すべての大便器にウォシュレットを設置している。男性トイレの小便器はマイクロ波センサー壁掛小便器セット、小便器の足元には、防汚・防臭効果のあるハイドロセラフロアPU、だれでもトイレには、オストメイトに必要な器具がパッケージされたコンパクトオストメイトパックを設置している。

建築概要

名称	代々木八幡公衆トイレ
所在地	東京都渋谷区代々木5-1-2
施主	日本財団
デザイン	伊東豊雄
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
竣工年月	2021年7月
建築面積	17.46㎡
延床面積	17.46㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上1階
おもなTOTO使用機器	
壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CS1	
ウォシュレット アプリコットP (温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPS	
マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A	
ハイドロセラフロアPU:AB690BR / 手洗器:LS901	
台付自動水栓:TLE26502J / コンパクトオストメイトパック:UAS81RSB2NW	